



江府町報

8月号

発行者
鳥取県江府町
電話 江尾(代) 2211
編集 総務課
印刷 (有)富士印刷

江府町の人口 (7月31日現在)

世帯数	1,336	世帯
人口	5,100	人
	(前月比)	1人減
(男)	2,478	
(女)	2,622	
出生	4	
(男)	2	
(女)	2	
転入	16	
(男)	7	
(女)	9	
転出	20	
(男)	9	
(女)	11	
死亡	1	
(男)	1	
(女)	0	

第164号

伝統の少年相撲で歓声

「ハツケヨイ、ノコッタ」八月十七日、江美神社境内で江尾十七夜行事の一環として、町体育協会共催のもと伝統ある「少年相撲大会」が行われ、威勢のいいチビッコたちの歓声がこだましました。

この日は、町内の小・中学校、組合立日光小学校の男子七十人が参加し、父母の見守る中、五人抜き、三人抜き、個人戦と熱戦を繰り広げました。土俵上では、岡田さん、村上さん、建井さん、仲嶋さんを行司に、チビッコたちがキラリとまわしを締め、真剣な表情で元気いっぱい技を披露していました。

▲元気いっぱい技を披露するまめ力士

・8月臨時町議会

八月臨時町議会は、八月五日開会され、町長提出の全議案を可決承認されたほか、議会提出の案件について同意されました。その内容は次のとおりです。

町道路線の認定

中国電力の俣野川発電所建設に伴い、一部が水没する県道上徳山俣野江府線の付替により、廃止となった旧県道の一部である武庫地内の県道分岐点から新六水路頭首工上流までの間を、



認定された町道武庫線

町道として認定するものです。
財産の取得

鏡ヶ成国民休暇村の野営場地（米沢財産区有地九一、二〇〇平方メートル）を買収取得し、町有地とするものです。

町道改良工事請負契約の締結

国庫補助事業として継続施工中の、町道洲河崎下安井線の改良工事を、指名競争入札により有限会社 住田組と契約（工事費 三千五百万円）することについて承認するものです。

一般会計補正予算

既定の予算額に、五百三十万円を増額し、予算総額を、二十六億七千三百三十六万円としました。

主な補正内容は、町営住宅修繕費、総合運動場照明施設工事の増額及び公有財産取得に伴う補正で、これが財源として、繰越金を充当し補正

措置をしました。

固定資産評価審査委員会委員の選任

八月十六日で任期満了となる後任の委員に
影山肇氏（洲河崎）が再任されました。

選挙管理委員会委員の改選

本年八月二十九日任期満了の町選挙管理委員、同補充員を次のとおり選出されました。
・選挙管理委員

- 遠藤 延（六六歳）貝田 新任
- 加藤智久（六二歳）佐川 再任
- 加藤多男（六一歳）俣野 新任
- 川端 直（五四歳）小江尾
- ・補充員

- 清水 順（五七歳）吉原
- 河上滋彦（四六歳）宮市
- 生田嘉美（五四歳）武庫
- 門田直理（六六歳）江尾

▽人権擁護委員候補者の意見を求めることについて、候補者として上原裕臣氏（江尾）を同意されました。

町政のうごき

八月臨時町議会における井上町長の行政報告から、その主なもの

水道普及率95%

（パーセント）

保健
七月十六日、川筋地区簡易水道が完成し、しゅん工式が行われました。この事業は、二か年継続事業で給水人口七八八人、事業費二億一四〇万五千円です。これで町の水道普及率は、九

十五％になりました。

また、七月十九日には、助沢地区飲用水供給施設新設事業の入札が行われ、一、八〇〇万円で藤井水道工務店が請負しました。
町内の水道整備が行われていないのは、大万地区と柿原地区ですが、柿原地区は、現地踏査を行い、計画に入っているところ

町民

七月十六日、県民生委員大会で本町の民生委員である森田一郎（貝田）、梶原義二（佐川）、筒井京一（下蚊屋）の三氏は、地域福祉に貢献した功により、県民生委員協議会長より感謝状を受けられました。

お知らせ

猟銃及び空気銃の取扱

講演会の開催

講習の種別

初心者講習―猟銃又は空気銃の所持許可を受けようとする者を対象
経験者講習―許可を受けて猟銃又は空気銃を所持している者を対象

日時及び場所

初心者講習会
9月8日
10時30分～16時30分
米子警察署会議室

経験者講習会

10月5日
13時30分～16時
米子警察署会議室

受講手続

申込受付期限
受講日の7日前まで
受講申込み先
溝口町溝口 溝口警察署

その他

講習受講手数料
初心者講習 三、〇〇〇円
経験者講習 一、五〇〇円
受講申込書は溝口警察署（只
五六一―二五二）、町役場農林

井上町長に電源功労表彰

通産大臣より

電源功労者として晴れの受賞

全国で12市町村長



記念講演会演説中の井上町長

のあったことの趣旨によるものである。

この日の受賞は、原子力立地に功労のあった四人と火力功労者七人、水力立地功労者一人の計十二人です。

次は受賞後記念講演会に於ての演説要旨並にインタビューに答えられ新聞に報道された井上町長の受賞のことばです。

『原子力、火力関係の受賞者が多い中で、また全国に多数ある水力電源の中から、今回水力関係者としてただ一人、受賞したことに大変感動しました。

電源立地に功績のありました地方自治体の首長に対し新しく今年国に設けられた「電源立地促進功労者表彰制度」に基づく表彰式が七月二十六日、東京・永田町の総理大臣官邸で鈴木総理始め閣僚大臣列席の下に行われ、井上町長が通産大臣表彰の栄に浴されました。

選考の対象となったのは全国で現在までの重要電源開発立地の市町村長(場合によっては知事)で、とくに立地促進に功勞

今回の受賞はすべて町民全体の理解と協力の生んだ結果であります。このよろこびの地元への報告を考慮中です。

私はかねてから、近代社会の自治首长は、物事を集約するのに、力や数による政治決着の方法をとるのではなく、住民の中に身を投じ、合意を得てから意見集約をすべきだとの哲学をもつてやってきました。

今回もこれを貫き、一地区の反対、あるいはその地区の一人でも反対があれば強行しない、との約束を掲げて臨んできました。

来い、と住民から呼ばれば必ず出向き、更に手前からも出向いて行きました。結局、二年間に二百五十回以上足を運び話し合いを続けました。電源立地には、「反対者も味方」との気持ちで接するのが大切だと確信しています。』

(日本電気新聞から転載)

第29回 町畜産品評会 32頭が出場

八月四日、第二十九回町畜産品評会が旧江尾家畜市場で行われ、町内の畜産農家から和牛二十六頭(うち、放牧牛六頭)、乳

牛六頭の合計三十二頭が出場。日野地方農林振興局太田主幹ら関係者が資質や体形、発育状態などを慎重に審査しました。この日の成績は、次のとおりです。

・和牛の部

- 一等
 - 川島泰文(美用) 砂口一正(吉原) 筒井一郎(栗尾) 森田行雄(貝田) 越峠嘉道(下蚊屋) 加藤猛(日ノ詰) 一三熊雄(助沢) 佐藤秋寛(貝田) 宮本高義(尾上原) 妹尾昶(西成) 岡田了吉(貝田)
- 二等
 - 内、放牧牛が二頭

- 奥田政則(柿原) 井上健(大河原) 越峠嘉道(下蚊屋) 小椋隆治(下蚊屋) 小椋福治(下蚊屋) 片山辰雄(宮市原) 森田繁夫(貝田) 岡田福門(貝田) 谷口滝夫(小原) 山本晴男(尾上原) 川上公行(美用) 川上正美(小原)

・乳牛の部

- 一等
 - 下垣稔(美用)
- 二等
 - 梅田茂(下蚊屋) 筒井京一(下蚊屋) 清水要範(吉原) 末次求(栗尾)

課にあります。詳細については、右記に問い合わせ下さい。

狩猟免許試験の実施

▽試験日、場所

- 9月14日 9時30分 県庁第二庁舎第22会議室
- 9月17日 9時30分 西部総合事務所(米子市)
- 10月14日 9時30分 中部総合事務所(倉吉市)

(注)受験申込みのときに、受験希望日を申し出ること。

▽受験手続

- 申込受付期限 受験をしようとする日の七日前まで
- 受験申請書の提出先 日野町根雨 日野地方農林振興局林業課

▽その他

- 狩猟免許手数料 一、八〇〇円
- ただし、受験の日に狩猟免許を受けており、これと異なる種の免許を受けようとする者 二、〇〇〇円

受験申請書は、日野地方農林振興局林業課(二〇三三)、町役場農林課(五三三三)にあります。

受験手続等について不明な点があれば、右記に問い合わせ下さい。

町へちやくちやく 工事あれこれ

▶消雪装置が設置された町道杉谷貝田袋原線



難なため、急ピッチで改良工事が進んでいましたが、このほど完成しました。
完成した道路は、延長三二〇メートル、幅員四メートル。また、消雪装置が設置され、凍結の心配もなくなりました。事業費は、四、七八〇万円です。

杉谷貝田袋原線を改良

杉谷貝田袋原線の杉谷地区は、道幅も狭く、万一のとき緊急自動車が入るのが困難

▶設置されたカーブミラー

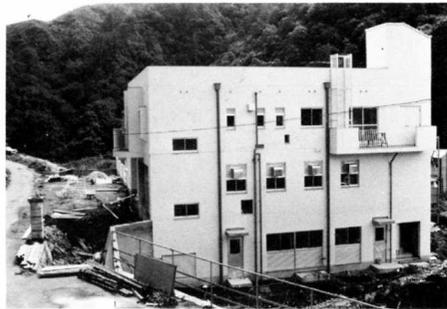


が進められました。
交通安全施設整備は、毎年少しずつ進められています。このほど二四万円、町内六カ所にカーブミラーを設置しました。また、今年度中にガードレール一カ所、バス停留所一カ所を設置する予定です。

町内6か所に交通安全施設整備

交差点での出合いがしら事故などを未然に防ごうと町内の危険な所に交通安全施設整備

▶急ピッチで工事が進むし尿処理施設



この工事は、今後予想される自家処理分の減少や、人口増にも対処できるよう、現在の処理能力日量十四キリを三十キリに倍増し、処理方法も従来の酸化方式から二段活性汚泥方式に切り替えるものです。総事業費は三億九千万円で、完成は十一月の予定です。

増設工事ほぼ完成 し尿処理場

し尿処理場「清化園」で昨年度から進められています増設工事は、九月内の稼働を目標に最終段階にかかっています。

町長日誌

*7月

- 1日(木) 伯備線電化開業記念式(松江)
- 2日(金) 庁内会
- 3日(土) 在勤
- 4日(日) 西部消防ポンプ操法大会(淀江町)
- 5日(月) 岸本町議会俣野川発電視察来庁 御机役員来庁
- 6日(火) 森林組合役員会
- 7日(水) 青少年育成町民会議総会、商工会建設工業部会
- 8日(木) 三町衛生施設組合担務者会(日南)
- 9日(金) 俣野川発電所定礎式
- 10日(土) 町内職域バレー大会
- 12日(月) 町観光協会総会(鏡ヶ成)
- 13日(火) 西部町町長会(大山寺)
- 14日(水) 県土木部要望会(米子)
- 15日(木) 中電横断道促進会議(広島出張)
- 16日(金) 川筋地区水道しゅん工式
- 17日(土) 町道杉谷貝田袋原線道路改良工事完成式
- 18日(日) 郡民体育大会(溝口町)
- 19日(月) 交通指導員任命式、助

池の内集会所



昭和56年度電源立地交付金事業 (単位千円)

事業名	事業量	事業費	内電源交付金
池の内集会所新築工事	鉄筋2階 380.62㎡	70.634	70.283
尾上原資材保管施設新築工事	鉄骨平屋 120㎡	15.544	10.080
新道地区急傾斜地崩壊防止工事	L=129.2m	12.908	12.400
町民総合運動整備及び付帯設備工事	55~56年度継続 フェンス、バックネット 観覧席、グラウンド舗装	95.076	82.400
荒田地区有線放送施設工事	21戸	2.923	2.880
日の詰地区	33戸	4.984	4.955
林道北谷線舗装工事	L=1,690m W=3.0m	30.926	30.852
町民総合体育館新築工事	鉄筋2階4,171.5㎡ 56~57年度継続 56年度特殊基礎、鉄骨加工	157.996	41.000
佐川集会所新築工事	鉄骨平屋 170.13㎡	19.892	8.000
荒田地区TV共聴設備工事	21戸	2.563	2.300
新道地区TV共聴設備工事	42戸	5.613	5.100
農道久連線新設工事	L=443.4m W=3.0m	22.045	7.400
農道金山線改良工事	L=520.0m W=3.0m	25.247	12.907
農道塚原線舗装工事	L=564.0m W=3.0m	7.982	5.649
林道カツチ線舗装工事	L=600m W=3.0m	8.299	6.350
林道宮の谷線改良舗装工事	L=563m W=3.0m	11.364	6.780
池の内資材保管施設新築工事	鉄骨平屋 185.25㎡	13.292	8.295
日の詰資材保管施設新築工事	鉄骨平屋 35㎡×2棟	7.355	3.702
深山口林産物処理加工施設新築工事	鉄骨平屋 39.01㎡	5.324	1.411
尾上原山村広場	造成 1,100㎡ 管理棟鉄骨平屋55㎡	17.972	9.992

明るい — 建設

20か所を整備

電源交付金事業

電源交付金事業として、五十五年
度から地域環境の整備を進めて
いますが、昭和五十六年度の事業
として、他の国の制度事業も一部
併用し、下表の事業を行いました。



▲林道北谷線

31日 (土)	30日 (金)	29日 (木)	28日 (水)	25日 (日)	24日 (土)	23日 (金)	22日 (木)	21日 (水)	20日 (火)
---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------

沢簡水事業入札、県町
 村会懇談会(米子)
 在勤
 山陰少年軟式庭球選手
 権大会(江府町)
 在勤
 十七夜実行委員会
 日光小学校関係会議
 通産大臣表彰(東京)
 土木部次長来庁
 県耕地課長、荒田役員
 江尾区役員来庁
 日ノ詰行政座談会

保健行事

胃 ガ ン 検 診

日 時 9月24日
8時10分～10時30分受付
場 所 江府町役場前

母 親 学 級

日 時 9月22日 9時30分～11時30分
場 所 町役場裏二階
対象者 妊婦
母子手帳を持参して下さい。

離 乳 食 指 導

日 時 9月20日 13時～13時30分受付
場 所 老人の家 (教育委員会隣)
対象児 昭和56年11月～57年6月出生児
内 容 離乳食初期・中期・後期の調理指導、身体計測

9月21日～27日

たばこの吸いがらも
ゴミのうち



環境衛生週間

生活の向上につれて、家庭や企業などから出されるごみの量は増大し

ています。また、ごみの種類も増え、燃やすと有毒なガスを出すものなども出てきましたから、捨てれば燃やせばいいと単純に考えられなくなりしました。

さらに、ゴミの廃棄物は、食中毒や伝染病の仲立ちとなるネズミやハエ、ゴキブリなどの発生と無関係ではありません。『考えようノみんなでなくそう、むだなごみ』九月二十一日から「環境衛生週間」が始まります。これを機会に、ごみの処理などについて考え、快適な生活環境づくりを進めましょう。



前夜祭

裏大山踊り

(参加人員) 四五〇人

(参加チーム) キョートスポート、江尾砕石、町農協、中国電力株式会社、新町一丁目子供会、新町二丁目子供会、本町五丁目、町青年団、小江尾、扶桑相互銀行、山陰合同銀行、町役場

郡上踊り

(参加人員) 七〇人

(参加チーム) 町商工会、中国電力株式会社、町役場

時代行列

(参加人員) 九〇人

江尾地区小・中学校児童生徒、各団体有志



▶町内を練り歩く時代行列

江尾城太鼓
商工会青年部 三〇人

十七夜

山車

一旦の弘法の淵(本一) 悪魔除の大ワラジ(本二) メナムの踊り子(本三) 因幡の白兔(本四) 天の羽衣(新一) 高砂(新二)

展示

子供作品展(本一、本三、新)
一) 生花展(未生流、小原流)
発電展(中国電力株式会社) 盆
栽展(本二) 青年展(町青年団)
能面展(谷本武市、清水純子)

仁輪加

十七人衆旅道中・花笠踊り(本一) バカ面踊り(本二) マグロ大漁行列(本三) 腹芸踊り(本四) 黒人踊り(本五) 江尾音頭(新一) 江美城みこし(新二) 江尾城音頭(役場)

十七夜踊り

(参加人員) 二〇〇〇人
(参加チーム) 本町一丁目、本町二丁目、本町五丁目、新町一丁目、新町二丁目、役場

荒神神楽

菖風社(貝田) が猿田彦の舞
国譲の能、八重垣の能を披露

町の地名考①

江府町には一八の大字、一九〇五の字があり、字には重複した多くの通称地名も生まれています。これらの地名は、大別して地形によるもの(地理的名称)と、産業・信仰・生活などの歴史的な要素によってつけられたものの二つに分けることができ、言いかえれば郷土の歴史の一断面でもあります。そこで、これらの地名のうち、公簿に登載され、比較的珍しい呼び名について考証を加え、地名を知る手がかりとしました。ここに抄出したもののほか、興味を引く地名も随分ありますが、大方は方言に転訛し、更に誤記されたと思われるものが多いことをつけ加えておきます。

大字の部

江尾

江尾を姓とする武士が石見・加賀にあったという。いずれも江尾という土地にゆかりがあるものであろう。「姓氏家系大辞典」には、江美氏という姓をあげ、「伯耆国日野郡江尾村より起る」とし、「江尾城主は蜂塚氏なり」と記しているから、「江美」「蜂塚」は同系と考えられる。エビには、海老・衣斐などの字があてられ、河川の屈曲地点に多い地名である。

小江尾

小江尾は大江尾に対する地名で、江尾がこの大江尾にあたる。近接する二つの地点は、歴史的にも深いつながりを持ち、地形も類似しているのである。岐阜

久連

県の揖保郡大野町にある大友斐小友斐は、江府町の江尾・小江尾の關係によく似ていて興味深い。江尾時代から明治にかけて江尾は江尾宿といい、小江尾は小江尾村と呼ばれていた。

くれ(呉)は、中国の南方を呼ぶ名で、中国からの帰化人の居住地であったために「くれ」の地名がある場合も多い。しかし、久連はこの例ではなく、樽(くれ)から出ていると思われる。この「くれ」は「くれ木」ともいい、山出しの板材、へぎ板、薪などのことで、この「くれ木」がここから運ばれたものであろう。「浅き世になげきてわたる筏師はいくらのくれ木か流れきぬらん」の古歌がある。(江府町史から)

人の動き (7月届)

お誕生おめでとう

小原 谷口知子 強 長女
 新道 大谷匡史 芳男 二男
 新一 足立悦子 昇 長女
 本五 中前友佑 茂美 長男

結婚を祝します

森田 辰志 江尾
 吉賀 一姫 山口県防府市から
 中村 弘 大阪市鶴見区
 長谷川幸代 宮市から
 北脇 延雄 島根県簸川郡
 川端 真見 江尾から
 福田 孝雄 下安井
 元村ちづる 北海道斜里郡から
 筒井 繁春 下蚊屋
 木下 瑞恵 米子市大崎から
 野地 朝光 島根県浜田市
 竹内 鈴子 久連から
 川端 一正 江尾
 池田ゆり子 熊本県天草郡から
 住田 孝昭 佐川
 山本 径子 広島県安芸郡から
 山本 勲伸 俣野
 木下 孝子 大阪府泉大津市から
 野口三千雄 宮市
 武内 信子 米子市愛宕町から
 大沼 實 宮城県白石市
 関内恵美香 江尾から

ごめい福を祈ります

藤田 明 江尾
 久城 弘美 日南町霞から
 遠藤 俊二 久連
 相澤 薫 米子市西福原から

袋原 千藤武雄 79歳 秀治宅

ありがとう

ございました

七月中西託分

香典返しとして

貝田 森田良一殿 (養父義明様ご逝去)
 杉谷 加藤恭典殿 (養父明様ご逝去)
 本一 細田岩男殿 (三男義久様ご逝去)
 袋原 千藤秀治殿 (父武雄様ご逝去)

内祝として

久連 竹内 登殿 (ご本人様退院)
 本五 村上 勝殿 (ご本人様退院)
 新一 川端君子殿 (ご本人様退院)
 新一 赤井吉治殿 (ご本人様退院)
 貝田 森田松代殿 (ご本人様退院)
 本五 村上千代子殿 (ご本人様退院)
 新一 入江民子殿 (ご本人様退院)
 下蚊屋 大森貞子殿 (ご本人様退院)
 池の内 藤原菊代殿 (ご本人様退院)
 西成 山本幸人殿 (母りん様退院)

特別寄付

新道 石原和美殿 (ご本人様退院)
 半の上 橋谷 億殿 (ご本人様退院)
 深山口 松原芳子殿 (ご本人様退院)
 佐川 前田喜太郎殿 (ご本人様退院)
 佐川 上田善江殿 (ご本人様退院)
 本三 吉岡省吾殿 (ご本人様退院)
 池の内 加藤哲郎殿 (ご本人様退院)
 本三 松尾輝代殿 (ご本人様退院)

宮市老人クラブ 雑布 28枚、竹ぼうき 15本
 宮市老人クラブ製作品

以上、社会福祉事業にご寄付いただきました。厚く御礼申し上げます。 江府町社会福祉協議会

善意銀行受払報告

1. 六月末累計額 百八万二千八百三十三円
2. 七月中寄付額 三十二万六千円
3. 内 訳
 - 快気祝 二十五万八千円
 - 香典返し 六万八千円
 - 3. 支出額
 - 4. 七月末累計額 百三十九万五千三百三十三円